

令和6年11月28日

## 総長予定者の決定について

大阪大学総長選考・監察会議

議長 村木厚子

大阪大学総長選考・監察会議は、推薦のあった2名の候補者について面接、所信表明、公開討論及び学内意向調査を実施し、それらの事項を総合的に判断し、慎重な審議を重ね、次のとおり総長予定者を決定した。

### 1. 総長予定者

熊ノ郷 淳（大阪大学大学院医学系研究科長・医学部長）

### 2. 総長任期

令和7年4月1日 ～ 令和13年3月31日（6年）

### 3. 選考理由

総長選考・監察会議は、総長に求められる資質・能力を示した「求められる総長像」を策定し、それを基に透明性と公平性の観点から15項目の「共通の評価指標」（別紙）を定めた。

熊ノ郷 淳氏は、学内外の要職を歴任したことで培った教育、研究及び大学・学会運営に関する豊富な経験を有する。学内からの信頼も厚く、高いコミュニケーション力や決断力、実行力を発揮し、学内外の関係者と確固たる信頼関係を築ける人物であり、本学のリーダーとして相応しい。

同氏は、本学の歴史と伝統、世界や社会の動向と今後の大学の発展を踏まえつつ、「“学問の府” 阪大」の強みやリソースを十分活かした将来ビジョンを示している。これは、あらゆる学問分野を俯瞰し新時代に適合する教育研究を推進するものであり、その卓越性と実現可能性が認められる。

また、同氏は大阪大学の理念を実現するために必要となる改革マインドを持ち、十全に経営能力を発揮できる人物である。

以上、同氏は、「求められる総長像」に掲げる「人品骨柄」、「リーダーシップ」、「ビジョナリー力」、「教育・研究基盤確立力」、「経営能力」の5つの資質・能力を十分に備えており、社会変革に貢献する世界屈指の大学を目指し、その実現を強力かつ柔軟に追求できる人物であると判断したことから、国立大学法人大阪大学総長予定者として選考した。

#### 4. 選考過程

令和6年

- 7月30日 「求められる総長像」を公表した。
- 9月 6日 総長選考実施要領を公表した。
- 9月 9日～9月27日  
総長候補者の推薦を受け付け、次の2名の「推薦書」「所信表明書」「履歴書」を受領した。  
① 金田 安史 ② 熊ノ郷 淳 (氏名五十音順)
- 9月30日 2名の総長候補者の氏名を公表するとともに、所信表明書及び履歴書を学内に公表した。
- 10月23日 2名の総長候補者による所信表明、公開討論(質疑応答を含む)を実施した。
- 11月 1日 2名の総長候補者に対し、総長選考・監察会議による1回目の面接を実施した。
- 11月 8日 総長選考・監察会議が学内意向調査を実施した。

#### 【学内意向調査の結果】 ※投票率67%

金田 安史	249票
熊ノ郷 淳	344票
白票、無効票	3票

- 11月28日 2名の総長候補者に対し、総長選考・監察会議による2回目の面接を実施した。

同日、総長選考・監察会議を開催し、面接、所信表明、公開討論及び学内意向調査の結果を総合的に判断して選考を行い、総長選考・監察会議委員による投票の結果、熊ノ郷 淳氏を次期総長予定者として決定した。

#### 【総長選考・監察会議委員による投票結果】

金田 安史	2票
熊ノ郷 淳	10票

■大阪大学総長選考における「共通の評価指標」

別紙

【求められる総長像】前文

大阪大学は、大阪大学の原点である適塾や精神的源流である懐徳堂から受け継ぐ先見性と自由闊達な精神を継承した大阪大学憲章に掲げる基本理念を尊重し、社会との共創を通じた、知の創出と人材の育成によって、人類の幸福と社会の持続的成長に貢献することを目指している。

総長には、その実現を追求する強い意志と、次のような資質・能力が求められる。

	「求められる総長像」各項目	評価の観点	評価項目
1	人格が高潔で、学識が優れ、国際的な視野を有する者であること	【人品骨柄】 大阪大学総長として相応しい資質を備えた人物であるか	高潔な人格
2			優れた学識
3			国際的な視野
4	学内外からの尊敬と信頼のもと、組織のリーダーにふさわしいコミュニケーション力、決断力及び実行力を発揮できる者であること	【リーダーシップ】 学内外の関係者と確固たる信頼関係を築き、大阪大学のリーダーとして大学を導いていくための資質を備え、かつ、それを十全に発揮することのできる人物であるか	学内外の関係者と確固たる信頼関係を築く力
5			相手を尊重し対話を重んじたコミュニケーション力
6			自主独立の気概と、組織のリーダーにふさわしい決断力及び実行力
7	大阪大学の理念実現のため、将来のビジョン及び方策を明確に示し、これまで築いてきた経営方針を踏まえつつ、高い志をもってその実現に取り組むことができる者であること	【ビジョナリー力】 所信表明において示された将来のビジョンと方策は評価できるものであるか	ビジョンの明確性
8			ビジョンの卓越性・発展性
9			方策の実現可能性
10	実学の伝統と総合大学としての特色を追求し、多様性と包摂性を尊重しつつ、グローバルな教育基盤及び研究環境を構築して、大学の存立基盤を確立することができる者であること	【教育・研究基盤確立力】 大阪大学の存立基盤の確立を図るにあたり、大阪大学の理念と伝統・特色を踏まえた姿勢を有する人物であるか	基礎と応用のバランスに配慮した、現実社会の要請に応える教育研究を実践する姿勢
11			新時代に適合する分野融合型の教育研究を推進する姿勢
12			多様性と包摂性を尊重しつつ、グローバルな教育基盤及び研究基盤を構築する姿勢
13	社会変革に貢献する世界屈指の大学を目指し、これまで大学が推進してきた事業を継承しつつ、大学改革を強力かつ柔軟に推進する経営能力を有する者であること	【経営能力】 社会変革に貢献する世界屈指の大学を目指すにあたり、大学改革を強力かつ柔軟に推進する資質を備え、かつ、それを十全に発揮することのできる人物であるか	これまで大学が推進してきた事業等を構成員間の協調をとおして発展させることができる指導力
14			社会との共創を通じた社会変革を推進するマネジメント力
15			社会や時代の要請に応じた絶えざる大学改革を強力かつ柔軟に推進する経営能力

## 履 歴 書

(ふりがな) 総長候補者氏名	( くまのこう あつし ) 熊ノ郷 淳		
生年月日 (年齢)	昭和 41 年 5 月 31 日生 (57 歳)		
現 職	医学系研究科・研究科長	就任年月日	令和 3 年 4 月 1 日
所 属	大阪大学大学院・医学系研究科		
連 絡 先			
学 歴 (大学卒業以降)			
年 月	事 項		
平成 3 年 3 月	大阪大学医学部医学科卒業		
平成 5 年 4 月	大阪大学大学院医学系研究科博士課程		
平成 9 年 3 月	同上修了 (医学博士)		
職 歴			
年 月	事 項		
平成 3 年 4 月～ 平成 3 年 6 月	大阪大学医学部附属病院において診療補助に従事		
平成 3 年 7 月～ 平成 4 年 6 月	大阪大学医学部附属病院医員 (研修医)		
平成 4 年 7 月～ 平成 5 年 3 月	大阪通信病院第二内科医師		
平成 9 年 4 月～ 平成 9 年 7 月	大阪大学微生物病研究所研究生		
平成 9 年 8 月～ 平成 15 年 12 月	大阪大学微生物病研究所・分子免疫制御分野・助手		
平成 15 年 12 月～ 平成 18 年 5 月	同分野・助教授		
平成 18 年 6 月～ 平成 23 年 3 月	大阪大学微生物病研究所・感染症態分野・教授 (平成 19 年 10 月～平成 23 年 3 月 免疫学フロンティア研究センターへ学内派遣)		
平成 23 年 4 月～	大阪大学大学院医学系研究科・呼吸器免疫アレルギー内科学講座 (現 呼吸器免疫内科学講座)・教授		
平成 27 年 4 月～ 平成 29 年 3 月	医学系研究科・副研究科長		
平成 31 年 4 月～ 令和 3 年 3 月	医学系研究科・副研究科長		
令和 3 年 4 月～	医学系研究科・研究科長、総長参与、医歯薬生命戦略会議議長		

学会、社会における活動等	
年 月	事 項
平成29年 6月～ 令和 2年10月～ 令和 3年 1月～ 令和 3年 4月～ 令和 3年 5月～ 令和 3年12月～ 令和 5年 3月～ 令和 6年 4月～ 令和 6年 4月～ 令和 6年 6月～	公益財団法人・アステラス病態代謝研究会理事長 日本学術会議連携会員 日本免疫学会理事 大阪府医療対策協議会委員 文部科学省・ライフサイエンス委員会委員 文部科学省・今後の医学教育の在り方に関する検討会委員 文部科学省・科学技術・学術審議会 専門委員 一般社団法人・日本医学会連合理事 国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST) 戦略的創造研究推進事業 研究主監 (ライフサイエンス系統括) 一般社団法人・全国医学部長病院長会議 (AJMC) 副会長/研究・医学 部大学院のあり方検討委員会委員長  その他、日本内科学会評議委員、日本臨床免疫学会理事、日本炎症・ 再生医学会理事、日本骨免疫学会理事等
受 賞 歴	
年 月	事 項
平成 3年 3月 平成17年 3月 平成17年12月 平成18年 7月 平成22年 9月 平成23年 4月 平成23年 8月 平成24年 8月 平成24年10月 平成25年 8月 平成26年 7月 平成27年 4月 平成29年 4月	大阪大学楠本賞 第1回 日本学術振興会賞 第8回 日本免疫学会賞 第2回 大阪大学教育・研究功績賞 第28回 大阪科学賞 文部科学大臣表彰・科学技術賞 (研究部門、単独受賞) 第1回 大阪大学功績賞 第1回 大阪大学総長顕彰 持田記念学術賞 第2回 大阪大学総長顕彰 第3回 大阪大学総長顕彰 Elected Membership for ASCI (American Society for Clinical Investigation)、米国臨床医学会特別会員選出 大阪大学荣誉教授の称号付与
その他特記事項	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Nature, Science, Cell 関連の国際的な一流学術誌に共同研究を含め 50 編以上の論文を                      発表 (Nature 及び Nature 姉妹紙 30 編以上、英文原著論文は 400 編を超える)</li> <li>・ 社会貢献として、ロングセラー医学教科書「免疫ペディア」「免疫学コア講義」、一般向け                      子供向け科学絵本監修</li> <li>・ 産学連携活動として大型共同研究講座・寄附講座を世話教授として運営</li> </ul>	
上記のとおり相違ありません。	
令和 6 年 9 月 24 日	
氏 名 熊 御 淳 (自署)	

※1 年齢は、令和6年4月1日現在の年齢を記載してください。

※2 この履歴書は、選考過程において、本学の学内専用サイト「マイハンドイ」で公開され  
 ます。なお、最終選考において総長予定者となった場合は、学内外に公表されます。